和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手（中野島周辺）	生田緑地	その他
アイノミドリシジミ	シジミチョウ科	金緑色の輝き	x	x	x	全国の山地、北海道の丘陵・低山地

成虫発生時期（月）											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

食草　○食樹	発生回数/年	越冬形態
ミズナラほか（ブナ科）	1	卵

長野県南佐久郡　７月下旬　柳の樹上でテリトリーを張る♂

山地性のシジミチョウでハイム周辺では見られませんが、オスの羽は黄色みがかった強い金緑色で、オオミドリシジの青緑、ミドリシジミの緑に比べると重厚な派手さがあります。アイノミドリシジミのオスは早朝２～３時間ほど活発に活動し、自らの縄張り（テリトリー）に侵入する他のオスを追い出すため、卍巴（まんじどもえ）飛翔を繰り返し、キラキラ光りながら２頭、或いは３頭、４頭がもつれ合い飛ぶ姿は圧巻です。メスは他のミドリシジミと同様に褐色の地色に、遺伝によりＡ（橙班）、Ｂ（青班）、ＡＢ（橙青班）及びＯ（無班）の各タイプに分かれます。

長野県南佐久郡　７月下旬　朝日を浴びて開張する♂

同　♂の卍巴

長野県南佐久郡　７月下旬　早朝下草に降りる♂

同　羽化直後下草を這い上る♀

190725　0922　　信州南佐久　　下草のササに降りる♂

200809　1030　　信州上高地明神　　♀ＡＢ型　周辺にはミズナラは見られないところの下草